

## 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

宮司

**現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点**

- ・星ヶ丘公民館で行われていた「きら星会」がなくなり、地域の集まりの場がなくなった。
- ・宮司ヶ丘区の相談件数は毎年多い。
- ・坂道が多く、外出に困る人が多い。
- ・サンクスや、おたがい様隊など、住民主体の活動が盛んに行われている。
- ・宮司ヶ丘公民館の「ひまわり会」は20年以上活動継続している。

福津市全体での高齢化率が27.7%のなかで、宮司地区では星ヶ丘46.6%、宮司ヶ丘43.3%が抜きんでて高い。この二地区は山を造成して作った団地の為、坂道が多く、車の運転をやめると交通手段に困る方が多い。星ヶ丘地区に関しては、地区のサロンも閉鎖になっており高齢者の集いの場がないことが課題と言える。

また宮司地区においては宮司三区が自治会の協力も得ながら生活支援（サンクス、チーム53隊、おたがいさま隊等）行っている。

**重点的取組事項**

郷づくり福祉部会に参加継続しながら、2層SCとも連携し、各地区の課題に取り組んでいく。

- ・星ヶ丘、宮司ヶ丘地区は高齢化が進んでいる為、サロンなどの集いの場が活発になるように取り組んでいく。
- ・宮司地区においては、住民活動継続できるように支援していく。
- ・民生委員会の参加をし、包括支援センターの周知、出前講座の案内を行う。

**取組結果、成果、問題点**

- ・郷づくり福祉部会には継続的に参加。相談事例によってはSCとも連携している。
- ・ひまわり会、にこにこサロン、星ヶ丘公民館での活動も見学している。にこにこサロンでは出前講座の依頼があり実施している。
- ・宮司地区のおたがいさま隊とは顔の見える関係ができています。
- ・民生委員会には参加し、包括の周知と出前講座の案内を行っている
- ・宮司ヶ丘は、高齢化率が高く、坂も多く、交通の便も悪いにも関わらず、集まりの場が少ない。

**今後の展望、次年度取組目標**

- ・これまで関わったことがないサロンや、公民館活動の現状を確認する。
- ・高齢化率も高いが相談件数が減少している地区（宮司ヶ丘地区等）へのアプローチを行なう。

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

勝浦

## 現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点

- ・高齢化率は高いが、相談件数は少ない。
- ・年をとっても、自営で働いている人が多く（農業）、自助が出来ている。
- ・交通手段がなく、出かけたくても出かけられない人がいる。
- ・勝浦サロンが毎月第4木曜日に実施されている。
- ・勝浦サロンにデイサービス菜々が参加していて事業所との連携ができつつある。

高齢化率が、どの行政区も40～50%と高値であるが、相談件数自体は少ない。農業や漁業など生涯現役で働く人が多いことや、住民同士のつながりが強いことが要因と推測する。R3年に勝浦サロンが開始されており、現在は月一回の開催。広い圏域に一か所であり、歩いて参加できる方に参加者が固定している。ただ実際は道端や、お地藏さん下などに近所のひとが集まっており小さいコミュニティはできている為、この小さなコミュニティとサロンをつなぐ必要があるかはこれからの検討課題。

## 重点的取組事項

- ・勝浦サロンへの参加継続。
- 2層SCも参加しており、包括支援センターの周知や、出前講座の案内を行う。参加者には地域に困っている人がいないかを聞き取りをしていく。
- ・郷づくり福祉部に、きんしゃいん倶楽部の情報提供を行う。
  - ・民生委員会へ参加し、包括支援センターの周知や、出前講座の案内を行う。

## 取組結果、成果、問題点

（取組状況）

- ・勝浦サロンへは定期的に参加。そこから、総合相談に繋がったケースもあり、包括支援センターの理解が深まっている。サロン参加時に出前講座の案内も実施している。
- ・民生委員会には定期的に参加し、包括の周知と出前講座の案内を行っている。
- ・高齢化率は高いが、相談件数は少ない。人との繋がりが強い。
- ・年をとっても、自営で働いている人が多く（農業）、自助が出来ている。
- ・交通手段がなく、出かけたくても出かけられない人がいる。
- ・R5年度から、ミニバスの路線変更になっており（勝浦小学校前に停まる）勝浦サロンに行きやすくなる可能性がある。

## 今後の展望、次年度取組目標

- ・各地区の現状を知る為に、公民館の活動状況を確認したり、民生委員との関係構築に努める。
- ・勝浦サロンへ継続的に参加していく。
- ・民生委員会や福祉部会に参加し（福祉部会は前年度未開催、開催時は声かけて頂くよう依頼している）包括支援センターの周知、出前講座の案内等を継続的に行い、顔の見える連携ができるようにする。

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

津屋崎

## 現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点

- ・ 在自、須多田、生家、梅津地区は、高齢化率は高くても、相談件数が少ない。
- ・ 昔から住んでいる人が多く、顔なじみの関係がある。
- ・ 郷づくり福祉部会の活動が活発な地域。うたいまじょうやオレンジカフェなど集いの場を継続して運営している。天神町、五反田、岡の2、新東、東町2は相談件数も多い。

## 重点的取組事項

- ・ 相談件数が少ない地区に、課題はないのか民生委員や福祉部会で確認していく。
- ・ サロンや集いの場に継続的に参加することで地域課題を見つける。また地域全体の介護予防の意識が高まるように啓発を行っていく。
- ・ 郷づくりの拠点が行政センターに移る事で、通いにくくなる人が発生することが予測される。また夕陽館閉館に伴う地域課題の有無についても確認していく。
- ・ 認知症地域支援推進員と協力してオレンジカフェの協力をを行う。
- ・ 天神町区で福祉会が立ち上がり、独居高齢の見守り活動を開始している。福祉会メンバーが見守り活動を継続できるようにサポートしていく。
- ・ 福祉部会に定期的に参加し、包括支援センターの周知や出前講座の案内を行う。
- ・ 民生委員会へ参加し民生委員と顔の見える関係を作る。

## 取組結果、成果、問題点

- ・ 民生委員会や福祉部会参加を通して、相談しやすい関係性はできつつある。地区によって、関わりが薄い民生委員もいるため、個別アプローチを行なう。
- ・ 「大人の会話」や「オレンジカフェ」には参加。大人の会話参加時に、身体機能が低下しているとの課題を共有し、きんしゃいん倶楽部を紹介。きんしゃいん倶楽部が開始している。
- ・ オレンジカフェで、認知症地域支援推進員による講義を行い包括も参加した。

## 今後の展望、次年度取組目標

- ・ 各地区の状況を知るために、公民館の活動状況を確認と、民生委員との関係構築に努める。
- ・ 民生委員会や郷づくり福祉部会に参加継続し、包括支援センターの周知や出前講座の案内等を継続的にを行い、顔の見える関係を作り連携ができる様にする。
- ・ 関わりが少ない地域へのアプローチ（公民館活動確認、民生委員との連携等）を行なう。
- ・ サロンへの活動協力を実施する。
- ・ 認知症地域支援推進員と共同で、オレンジカフェに協力する。

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

福間南

## 現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点

- ・原町は介護保険申請の相談の場合、要支援より要介護が下りることが多い。高齢化の進行のためか。
- ・日蔭野地区は高齢者数が少ないが、相談件数は他地区と同様にある。新しい地区のため、近所づきあいが少ないためか親族からの相談が多い。市外や福津の他地区から移り住んだ家庭が多いため、情報提供に関する相談が多い。
- ・地区内で問題を解決しているためか、有弥の里からの相談は少ない。

## 重点的取組事項

- ・2層SCと通所C型利用者の課題解決に向けて積極的な連携を行えるよう対応する。
- ・マンション在住の高齢者に当センターの周知を図るため、回覧板で包括の情報を回してもらるか、掲示板の掲載が可能か相談する。（民生委員の介入についても）
- ・福祉部会に定期的に参加し、包括の周知や通いの場があるかの確認を行う。
- ・民生委員会の参加を行い、包括の周知、顔の見える関係性を構築する。

## 取組結果、成果、問題点

- ・光陽台地区は通所C利用者が非常に少なく、2層SCと連携する機会がなかった。今後も必要時は連携していく。
- ・マンションに訪問した際、管理人を通して包括のチラシ、シールを掲示板に貼り周知をはかった。周知できなかったマンションがあるため、継続して周知を行っていく。
- ・福祉部会、民生委員会共に出席し包括の周知を行い顔の見える関係性構築を行った。

## 今後の展望、次年度取組目標

- ・地域課題が上がった際は2層SCと連携を行う。
- ・マンション在住の方への包括の周知を継続して行う。
- ・福祉部会、民生委員会の参加を継続し、顔の見える関係性の構築を行う。
- ・地域の通いの場の確認を行う。

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域	福間
<b>現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和1～2区はマンションが多く、民生委員も訪問が行い難い。マンションの住人の高齢化も進んでいる。その為、親族からの相談が半数以上を占めている。</li> <li>・緑町区は居宅ケアマネからの相談が一番多いことから、介護保険を利用されている方が多いと推測される。</li> </ul>	
<b>重点的取組事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2層SCと通所C型利用者の課題解決に向けて積極的な連携を行えるよう対応する。</li> <li>・マンション在住の高齢者に当センターの周囲を図るため、回覧板で包括の情報を回してもらるか、掲示板の掲載が可能か相談する。（民生委員の介入についても）</li> <li>・福祉部会に定期的に参加し、包括の周知や通いの場があるかの確認を行う。</li> <li>・民生委員会の参加を行い、包括の周知、顔の見える関係性を構築する。</li> </ul>	
<b>取組結果、成果、問題点</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所Cからの地域課題が上がらなかったが、今後、地域課題が上がった際は2層SCと連携していく。</li> <li>・訪問先のマンションの管理人に許可が下りた場合は、包括のチラシ、シールを掲示板に掲載することができた。周知できなかつたマンションがある為、継続して周知を行っていく。</li> <li>・福祉部会、各民生委員ブロック会に参加し包括の説明、周知を行い、顔の見える関係性構築を行った。</li> </ul>	
<b>今後の展望、次年度取組目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションに包括の周知を継続して行う。</li> <li>・地域課題が上がった際、2層SCと解決に向けて連携する。</li> <li>・福祉部会、民生委員会に参加し顔の見える関係性を継続して構築する。</li> <li>・地域の通いの場があるのか確認を行う。</li> </ul>	

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

神興東

現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・久末、三角区、津丸は高齢化率は高いが、相談は少ない。</li> <li>・あけぼの、桜川区は高齢化率が低く、相談が少ない。</li> <li>・若木台エリアは、坂道が多い地区があり、交通の便も悪い為、外出が不便となっている。</li> </ul>
重点的取組事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>①若木台5区できんしゃいん倶楽部（R4.4.20～、12回）開催している。</li> <li>②若木台3区サポートの会と連携を図り、情報共有や情報提供を行なう。</li> <li>③神興東郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有。依頼があればサロン等の行事に参加する。</li> <li>④地域の活動（じんとうサロン、ヨガ教室等）の情報提供を行なう。</li> <li>⑤地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行なう。</li> <li>⑥民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応や民生委員との連携強化を行なう。</li> <li>⑦包括支援センターの周知、出前講座の案内を行なう。</li> <li>⑧各地で行われる移動販売の状況を確認し、必要な方への情報提供を行なう。</li> </ul>
取組結果、成果、問題点
<p>取り組み・成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①若木台5区できんしゃいん倶楽部を継続されている。</li> <li>②若木台3区サポートの会と連携を図り、情報共有や情報提供を行った。</li> <li>③福祉部会に参加しサロンなどの活動状況の確認と情報共有を行い、健康測定会の参加やサロン見学を実施した。</li> <li>④相談者や通所C型利用者にケアマネを通して、サロンやヨガ教室等の情報提供を行った。</li> <li>⑤個人サロンのつぼみの会の見学を実施した。</li> <li>⑥民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携を実施した。</li> <li>⑦福祉会の参加時やサロン見学の際に包括の周知を行い、出前講座の案内を行った。</li> <li>⑧あんずの里の移動販売見学に行き、必要な方への情報提供を行った。</li> </ul> <p>問題点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久末、三角区、津丸は高齢化率は高いが、相談は少ない。</li> <li>・あけぼの、桜川区は高齢化率が低く、相談が少ない。</li> <li>・若木台エリアは、坂道が多い地区があり交通は不便なため、免許返納後の買い物に困っている（わかば公民館、かいがら公民館の移動販売がなくなった）。</li> <li>・コロナ禍で外出の機会や人との交流が減少した影響か、夫婦関係の悪化による虐待が増えている。</li> </ul>
今後の展望、次年度取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若木台3区サポートの会と連携を図り、情報共有や情報提供を行う。</li> <li>・神興東郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有を行う。依頼があればサロン等の行事に参加する。</li> <li>・地域の活動（じんとうサロン、ヨガ教室等）の情報提供を行う。</li> <li>・地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行う。</li> <li>・民生委員会ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携強化を行う。</li> <li>・包括支援センターの周知、出前講座の案内を行う。</li> <li>・各地で行われる移動販売の状況を確認し、必要な方への情報提供を行う。</li> </ul>

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

神興

## 現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点

- ・光陽台5区は高齢化率が高い割に、相談が少ない。
- ・東福間6.7.8区からの相談が増えている（障がいからの65歳到達相談も増加傾向）。
- ・冠区、東福間1区からの相談がない。
- ・郷づくりエリアごとの中では、高齢化率が一番高い（41.4%）。
- ・対応依頼の相談が減っている。

## 重点的取組事項

- ①神興郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有を行う。依頼があればサロン等の行事に参加を行なう。
- ②地域の活動（ふれ愛サロン、東福間中央公民館サロン、県住集会所サロン等）の情報提供を行なう。
- ③地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行なう。
- ④民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携強化を行なう。
- ⑤包括支援センターの周知、出前講座の案内を行なう。
- ⑥光陽台4区は今年度、きんしゃいん倶楽部開催にむけて調整を行う。
- ⑦各地で行われる移動販売の状況を確認し、必要な方への情報提供を行なう。

## 取組結果、成果、問題点

取組結果・成果：

- ①福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認や情報共有をおこない見学も実施した。
- ②相談者や通所C型の利用者にケアマネを通してふれ愛サロン等の情報提供を行った。
- ③リズムダンス、ふれ愛サロン、友遊ロック見学を行った。
- ④民生委員ブロック会に参加し、高齢者の相談対応や民生委員との連携を実施した。
- ⑤福祉会の参加時やサロン見学の際に、包括の周知を行い、出前講座の案内を行った。
- ⑥光陽台4区がきんしゃいん倶楽部開催にむけて調整中であったが、開催には至らず。
- ⑦移動販売のあんずの里や青い鳥（現在終了）の見学に行き、必要な方への情報提供を行った。

問題点：

- ・光陽台4.5.6区は高齢化率が高い割に、相談が少ない。
- ・高齢化率と相談率は比例しない。
- ・東福間6.7区からの相談が増えている。
- ・郷づくりエリアごとの中では、高齢化率が一番高い（R3年41.4%⇒R4年42.3%）。
- ・対応依頼の相談が前年度より更に減少している（R3年8件⇒R4年2件）。

## 今後の展望、次年度取組目標

- ・神興郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有を行う。依頼があればサロン等の行事に参加を行なう。
- ・地域の活動（ふれ愛サロン、東福間中央公民館サロン、県住集会所サロン等）の情報提供を行なう。
- ・地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行なう。
- ・民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携強化を行なう。
- ・包括支援センターの周知、出前講座の案内を行なう。
- ・各地で行われる移動販売の状況を確認し、必要な方への情報提供を行なう。

# 令和4年度福津市地域包括支援センター地域別取組シート

地域

上西郷

現状分析、地域特性（総合相談・地域ケア会議等）から見えた問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福津市の高齢化率と比較すると、36.4%と高い。</li> <li>・R2年度以前と比べて、相談件数が増加している。</li> <li>・舎利蔵区は、高齢化率は高いが、R3年度は相談はない（人口も少ない）。</li> <li>・内殿区は、H31年度以降相談件数が減っている。</li> <li>・交通の便が悪く、高齢や認知機能が低下しても運転を続けている人がいる。</li> </ul>
重点的取組事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>①上西郷郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有。依頼があればサロン等の行事に参加。</li> <li>②地域の活動（ふれあいサロン、岩橋サロン等）の情報提供を行なう。</li> <li>③地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行なう。</li> <li>④民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携強化を行なう。</li> <li>⑤包括支援センターの周知、出前講座の案内を行なう。</li> <li>⑥各地で行われる移動販売の状況を確認し、必要な方への情報提供を行う。</li> </ul>
取組結果、成果、問題点
<p><b>【取組結果、成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①郷づくり福祉部会に参加、サロンの活動状況等を情報共有した。サロン行事への依頼はなかった。</li> <li>②必要時に、地域活動の情報提供を行った。</li> <li>③R4.11.18岩橋サロン見学を行った。</li> <li>④民生委員ブロック会に参加、連携行った。</li> <li>⑤郷づくり福祉部会や民生委員会にて実施済み。</li> <li>⑥地域での移動販売は行われていなかった。</li> </ul> <p><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が集う場所が少なく、包括を啓発する機会がない。</li> <li>・舎利蔵区は、高齢化率は高いが、R3年度に引き続きR4年度は相談はない（人口も少ない）。</li> <li>・交通の便が悪く（ミニバスが使いづらく）、高齢や認知機能が低下しても運転を続けている人がいる。</li> </ul>
今後の展望、次年度取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上西郷郷づくり交流センターで開催される福祉部会に参加し、サロンなどの活動状況の確認と情報共有。依頼があればサロン等の行事に参加を行なう。</li> <li>・地域の活動（ふれあいサロン、岩橋サロン等）の情報提供を行なう。</li> <li>・地域で行われる個人でのサロン活動の状況確認を行なう。</li> <li>・民生委員ブロック会に参加し、気になる高齢者の相談対応。民生委員との連携強化を行なう。</li> <li>・包括支援センターの周知、出前講座の案内を行なう。</li> </ul>